



公開シンポジウム「日本の植民地主義と中国・北朝鮮脅威論を問う」で意見交換するパネリスト=27日、琉球大学

琉球人遺骨の返還要求 シンポで植民地主義問うシンポ

2018年1月28日 11:45 文化・芸能 B! Twitter Facebook

公開シンポジウム「日本の植民地主義と中国・北朝鮮脅威論を問う！」(主催・東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会)が27日、琉球大学(沖縄県西原町)であり、同研究会が「琉球人・アイヌ遺骨返還問題にみる植民地主義に抗議する声明文」を発表した。

声明では、戦前の発掘調査で京都帝国大学の金関丈夫氏が今帰仁村の百按司墓から研究目的で持ち出した遺骨について「琉球併合後、警察を含む行政、教育関係の上層部の大部分を日本人が専有するという植民地体制下において金関氏の盗掘が行われた」と指摘。京大の人骨保管は国際法上問題だとして「琉球人に対するこれまでの冒流(ぼうとく)行為への謝罪」「遺骨に関する完全な情報の公開、返還、再埋葬」を要求している。

シンポではヘイトスピーチや沖縄近隣の国際関係などについて6人のパネリストが発表した。琉球大学の島袋純教授が、東村高江での機動隊員による市民への「土人」発言について「権力的に優位にある多数がマイノリティーの人権侵害、構造的差別、暴力を正当化することで、最終的には直接的暴力さえ正当化されていく」と問題視した。

ジャーナリストの屋良朝博氏は、米太平洋軍のアジア太平洋での活動が対決から協調に移行しているとし「沖縄を(非軍事的な)緩衝地帯にした方がいいのではないか」と提言した。

名護の未来、20代トーク 新基地にホンネ 一緒に考えよう 米海兵隊員を逮捕 沖縄・北谷 ホテル従業員を殴った疑い

植民地 琉球人骨 京都大学 ヘイトスピーチ



関連ニュース

【反ヘイト】沖縄県の人権条例案、概要判明 ヘイトスピーチの禁止や罰則、盛り込まれず 施行いつから？



曖昧な文言は「逃げ」 性的少数者の命守って 条例は生きやすい社会の第一歩に <反ヘイト 条例案を讀...



被害者を救済へ「第三者機関」が重要 社会改善を担う役割も <反ヘイト 条例案を讀む>



アクセスランキング

一覧へ >

ニュース

解説コラム

24時間

1週間

- 1 「羽を広げると見たことない大きさだった」沖縄・多良間島で目撃された鳥の正体
2月2日 6:00 地域
- 2 けがをして自宅の駐車場にうずくまる鳥 八つの色を持つ「幻の鳥」だった
9月20日 8:01 社会・くらし
- 3 「急に電気が消えて店内は騒然」沖縄本島20市町村で停電 最大3万9千戸 その原因とは
2月2日 8:06 社会・くらし
- 4 ネットで話題だった沖縄の「巨大ムカデ」発見 日本最大級、143年ぶりオオムカデの新種
4月14日 10:32 社会・くらし
- 5 「サンタさんにおねがいして生まれたじまんの妹です」リハビリに励む2歳へ小2がつづいた「ありがとうの手紙」、最優秀賞に
2月3日 10:15 社会・くらし

トピックス

- プレゼント 新春トップインタビュー
- インフルエンザ 安保関連3文書
- 沖縄電力値上げ 高校生失事事件 PFAS汚染
- 沖縄の選挙 サイトリニューールのお知らせ
- 赤ちゃん・ペット写真募集

お知らせ

お試し読み 30分以内 商品券 お試し読みキャンペーン実施中！ 1週間お試し読みで先着1,000名様には500円分商品券等をプレゼント！

お友達も紹介しよう！ 【期間限定】お友だち紹介キャンペーン！ 沖縄タイムスをご購読いただける方をご紹介ください。ご紹介した方には商品券5,000円分プレゼント！

無料で楽しめるゲームコンテンツ 沖縄タイムス社は無料で楽しめるゲームコンテンツを公開しました。クロスワード、早押し演算など20種類のゲームが無料で楽しめます。休憩時間や息抜きにどうぞご利用ください。

新春 TOP INTERVIEW 2023 新年にあたり、沖縄経済の第一線で活躍する企業・団体の経営者97人に、抱負やビジョン、今後の成長戦略、地域貢献への思いなどを